

2020年度 とやま地域学

授業科目名	とやま地域学		
職名	教授	担当教員名	尾畑 納子
開講時期	1年前期集中		
必修・選択区分	選択	単位数	2

授業の概要	<p>新型コロナウイルスの感染拡大は世界を一変させました。拡大防止のため非常事態宣言や海外の大都市での都市封鎖など、これまで経験したことのない生活の制限を強いられることになりました。その影響は甚大で、今後私たちの生活様式は大きく変化することになります。</p> <p>今年度のとやま地域学のテーマは「過去から未来へー富山の未来創造ー」としました。県内大学生の皆さんに、富山という地域の歴史の変遷や自然環境、地域特性について学び、コロナ禍によって現在の東京集中社会から地域や社会はどのように変化していくのか、持続可能な社会とは何か、といった視点から、富山の地域づくりについて考えて欲しいと思います。様々な分野で富山について研究されている専門家の皆さんに、「データ分析から見る富山」、「歴史・文化の視点から見る越中・富山」、「豊かな森・里・川・海の自然環境」、「AI、デジタル化社会」について解説していただき、富山の未来を考えるきっかけとなることを目指します。</p>			
キーワード	富山の歴史	富山の自然	地方の未来創生	
到達目標	<p>目標1: 富山の歴史文化、環境、産業の現状などを学び、特色を理解すること。</p> <p>目標2: 富山の自然環境と持続可能な地域づくりを考える。</p> <p>目標3: 政策の専門家の講義を通して、富山のこれからについて考える。</p>			

現代社会学部

ディプロマポリシー	1.「人」としての能力(人間性の向上)
カリキュラムポリシー	①現代社会に必要な基礎知識の向上

キー・コンピテンシー(重視する能力)

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力
		○		

教授方法(授業方法)

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学習指導・自主活動
○	○				

授業計画(順番が入れ替わる場合があります。)

回数	授業内容詳細
第1回-8月31日(月)	オリエンテーション 富山国際大学現代社会学部教授 尾畑 納子
第2回-8月31日(月)	地域創りの大転換① 講師: 富山地域研究所所長 浜松 誠二 氏
第3回-8月31日(月)	地域創りの大転換② 講師: 富山地域研究所所長 浜松 誠二 氏
第4回-8月31日(月)	地域創りの大転換③ 講師: 富山地域研究所所長 浜松 誠二 氏
第5回-9月1日(火)	越中(富山県)の歴史ー大伴家持と富山 講師: 前富山国際大学 現代社会学部 非常勤講師 米原 寛 氏
第6回-9月1日(火)	越中(富山県)の歴史ー中世の社会 講師: 前富山国際大学 現代社会学部 非常勤講師 米原 寛 氏
第7回-9月1日(火)	越中(富山県)ー富山藩の大名たち 講師: 前富山国際大学 現代社会学部 非常勤講師 米原 寛 氏
第8回-9月1日(火)	越中(富山県)の歴史ー売薬業から見た近世・近代 講師: 富山市郷土博物館 館長 坂森 幹浩 氏
第9回-9月2日(水)	富山の自然と地域エネルギー 講師: 富山国際大学現代社会学部教授 上坂 博亨
第10回-9月2日(水)	富山の自然と地域づくり① 講師: 早稲田大学名誉教授 宮口 侗迪 氏
第11回-9月2日(水)	富山の自然と地域づくり② 講師: 早稲田大学名誉教授 宮口 侗迪 氏
第12回-9月2日(水)	水中カメラマンがみた富山湾の様子 水中カメラマン 大田 希生 氏
第13回-9月3日(木)	立山から見る富山の自然 講師: 立山カルデラ砂防博物館 学芸課長 飯田 肇 氏
第14回-9月3日(木)	未来の富山ービッグデータとデジタル技術がもたらす社会変容 講師: 富山国際大学 高木 利久 学長
第15回-9月3日(木)	新型コロナウイルス感染症について(仮) 講師: 富山県理事・厚生部次長 木内哲平 氏

評価方法	受講態度及び毎時の課題、レポートをもって総合的に評価する。 試験は実施しない。
------	--

備考	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストは初回に無料配布予定。 ・授業前後の学習に関しては、本要綱の到達目標を踏まえ初日のオリエンテーションで説明を行う。 ・授業に関する質問は毎回質問票を配布して各講師に提出する。その他、休憩時間などを利用して質問に応じる。
----	--

1日の時間割(第1～15回)

1時限目 9:00～10:30 2時限目 10:40～12:10 3時限目 13:00～14:30 4時限目 14:40～16:10